

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330421103	社会科研究 (1単位) Social Studies Reserch	加藤 雅亮	✓	基礎	1	必修	1後期

科目の概要

DP3に記載されている小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付け、子どもたちの未来の幸せに向けてその礎づくりを支援する温かな資質を持った小学校教諭の育成を目指す。また、DP1記載の本学の四大精神「真心・努力・奉仕・感謝」を実践しながらDP5記載の社会人基礎力・pisa型学力等を修得する。そして、自立した社会人として身近な社会や国際的な課題を理解し、自ら考え、社会に貢献できる人材の育成も目指す。

そのため、この科目では、小学校教諭としての社会科の知識や授業を創造する力を身に付け、児童を引き付けたり児童の力を伸ばしたりするノウハウを学ぶとともに、社会人としての教養を修得する。また、小学校教諭を目指さない学生に対しても、学校を応援する社会人・保護者になれるよう、子どもを育成する学校の尊さについて学ぶ。

担当教員は小中学校の教員を36年間務め、その間、市教育委員会事務局での行政経験や二度にわたる海外日本人学校での勤務経験がある。この科目では、それらの実務経験に即した講義を行う。

学修内容	到達目標
① 小学校教諭としての基礎知識・技能、児童を引き付けたり主体的に学びに向かわせたりするノウハウ等について学修する。 ② 小学校社会科の目的・学習内容・指導上の留意点や教師支援の方法等についての基礎的な理解を深める。 ③ 授業の導入や資料の選択・活用の仕方、提示方法を考え、授業の具体的な実践方法を学ぶことを通して、授業を創造する楽しさを感じる。 ④ 現場での授業者の体験を通して、小学校の現状や課題について理解を深め、学校教育の大切さについて考える。 ⑤ 時事問題を通して世の中の多様な見方や考え方を知り、世の中で起きている問題について自分の考えをもち、未来の日本や世界に対して自分はどう関わっていくのかを模索する。 ⑥ 規律を守ってペアやグループ、全員と話し合う中で、主体的に学ぶ姿勢とコミュニケーション能力を高める。	① 小学校教諭としての基礎知識や技能を修得し、児童を引き付けたり主体的に学びに向かわせたりするノウハウ等を獲得している。 ② 小学校社会科の目的・学習内容・指導上の留意点や教師支援の方法等の基礎的な内容について、理解している。 ③ 授業の導入や資料の選択・活用、提示方法を考え、授業の具体的な実践方法を学び、授業を創造する楽しさを感じられている。 ④ 小学校現場の現状や課題を知り、将来にわたって学校を応援する社会人・保護者としての思いをもつ。 ⑤ 大人として、世の中のことに関心をもち、多様な意見に触れながら自分の意見をもち、未来の日本や世界に対して自分に何が出来るかを考える態度を養う。 ⑥ 講義のルールを守って、主体的に学ぶ姿勢とコミュニケーション能力を高め、充実した学修にする。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	グループやペアでの話し合いに積極的に参加しようとしたり、全体の場で自分の疑問点や考えを述べたりすることができる。また、世の中の出来事に関心をもち、自分で情報を集めようとするすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	必要な情報や知識を自ら集め、それを学びにいかすことができる。
考え抜く力	課題発見力	学習内容や時事問題に対して、本質を捉え、自分なりに課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	楽しい授業を創りあげるために、自分なりの工夫を考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループやペアでの話し合いや全体での発表の場面で自分の考えを分かりやすく表現することができる。
	傾聴力	グループやペアでの話し合いの場面等で他の学生の考えを共感的に聞いて、自分の考えの練り上げに活かすことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	学修上のルールを守って行動したり、学修課題に沿ってグループやペアで話し合ったりすることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

小学校学習指導要領(平成29年3月告示)解説 社会編
 教科書 東京書籍『新編 新しい社会5上(国土・農水産業)』または『新編 新しい社会5下(工業・情報・環境)』 この「上」か「下」のどちらかを選択して購入する(模擬授業で選択する可能性が高い方を選ぶ)
 教科書 東京書籍『新編 新しい社会6 政治・国際編』
 教科書 東京書籍『新編 新しい地図帳』

他科目との関連、資格との関連

2年時に履修する社会科教育法の基礎となる科目である。2年時には、正規の指導案を書き上げ、模擬授業を行う。そこで、この科目では、小学校社会科を実践するうえで必要となる現行の小学校社会科の学習指導要領の内容を学んだり、指導案の基本について学んだりした上で、指導略案を書き模擬授業を実施する。また、授業の導入を考えたり、資料の選択や提示方法を考えたりする体験を通して、実際の社会科の授業の基礎を学修する。小学校教諭免許取得に際し、必修である。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 講義や活動の中で疑問をもったことがあれば積極的に質問をすること。 グループやペアでの活動でコミュニケーション能力を磨きながら、自らの考えを積極的に発信すること。 社会科のみならず小学校の授業や学級経営そのものの在り方についても講義で言及する予定である。教育実習に直接役立つとの心構えで受講すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 私語など周囲にとって迷惑となる行動は慎むこと。 携帯やスマートフォンは、使用するよう指示がある場合を除いて、電源を切るかマナーモードにしてかばんの中に入しうこと。また、録音や録画・写真の撮影は、原則として禁止とする。 教官の指定する座席に着席すること。講義中に離席する必要がある場合は、教官に申し出ること。 水分補給以外の飲食は禁止とする。 机に突伏して寝ないこと(授業者へのダメージが大きいため)。 レポート等で何かを参考にしたり文章を引用したりした場合は、必ずそれがわかるようにし、出典を記載すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	0	①	⑥				
			②					
			③					
			④					
			⑤					
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	50	①		✓	⑥	(獲得) 小学校学習指導要領の内容や小学校社会科の授業内容、社会科のもととなる世の中の仕組みなどの知識を得たり、授業の目的に合った有効な資料を見つけたりすることができる (40%) (活用) 社会に関する新しい視点をもったり問題点を抽出したりできる (40%) (解決) 抽出した問題点に対して、自分なりの分析を行い改善策を提案できる (20%)
				②		✓		
				③		✓		
				④		✓		
				⑤		✓		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	40	①	✓	⑥	(獲得) 社会科の指導案の基本に則った指導略案を作成できる知識 (30%) (活用) 児童が関心をもったり思考を深めたりする資料を選び、授業の導入を工夫することができる (20%) (解決) 児童が楽しく学習に参加するような模擬授業を行うことができる (50%)			
		②	✓					
		③	✓					
		④	✓					
		⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	⑥	✓	【主体性】 グループやペアでの話し合いに積極的に参加しようとしたり、全体の場で自分の疑問点や考えを述べたりすることができる。また、自分で情報を集めようとするすることができる。 【実行力】 必要な情報や知識を自ら集め、それを学修にいかすことができる。 【課題発見力】 学修内容や時事問題に対して、本質を捉え、自分なりの課題を見つけることができる。 【創造力】 楽しい授業を創りあげるために、自分なりの工夫を考えることができる。 【発信力】 グループやペアでの話し合いや全体での発表の場面で自分の考えを分かりやすく表現することができる。 【傾聴力】 グループやペアでの話し合いの場面等で他の学生の考えを共感的に聞いて、自分の考えの練り上げに活かすことができる。 【規律性】 学修上のルールを守って行動したり、学修課題に沿ってグループやペアで話し合ったりすることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその基礎となる社会的な見方や考え方を関連付けて、実践レベルで理解したり表現したりすることができる。②世の中の出来事や課題に関心を持ち、発言やレポートなどで多様な視点に立った上で自分の考えをしっかりと表現することができる。	①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその基礎となる社会的な見方や考え方を理解したり表現したりすることができる。②世の中の出来事や課題に関心を持ち、発言やレポートなどで自分の考えを表現することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション(講師の自己紹介、受講生の自己紹介、授業の概要・計画および評価について、受講する上でのルール・マナーの確認、座席やペア・グループの確認)。これまで受けてきた社会科の授業はどのようなものだったかを振り返り、印象深かった授業をグループ内で発表する。	講義 グループ・ペアワーク	受講する上でのルールやマナーを理解し、それを守りながらペアやグループで学びを深めていこうとする意欲をもったりラポール形成をしたりすることができる。	(予習) これまで受けてきた小学校社会科の授業でどのようなことを学んだのかを振り返り、意見発表できるように準備する。 (復習) 授業を振り返り、自分はそのような小学校社会科の授業をめざしたいのかイメージする。また、津田塾大学ライティングセンターの「レポートの書き方」を参照し、今後のレポートの書き方について学ぶ。 https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/2020070800000455.html	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
2	ビデオ資料をもとに小学校の現状に触れ、「日本人は小学校でつくられる」という言葉の意味について考える。小学校学習指導要領「総則」を読んで、日本が目指す小学校や授業について考え、その趣旨を理解する。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック (2週目以降、google forms や google classroom を用いての授業やフィードバックをすることもある)	ビデオ資料や小学校学習指導要領総則をもとに、日本がめざす小学校や小学校の授業のあるべき姿をイメージすることができる。	(予習) 小学校学習指導要領総則を読んで、キーワードをチェックする。 (復習) 総則を読み直し、授業で明らかになったポイントを振り返る中で、総則の全体像を自分なりにとらえ直す。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
3	小学校学習指導要領社会科3～6年生を読み比べて、どのように目標・内容・内容の取扱いが異なり、どのようにそれらを発展させているかをキーワードをもとに理解する。社会科に関する一般教養1について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	小学校学習指導要領社会科の各学年の目標について理解することができる。 一般教養1の課題について、自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校学習指導要領社会科の目標を読んで、キーワードをチェックする。 (復習) 小学校社会科の目標を読み直し、自分が印象深かった社会科の授業は、この目標のどこに当てはまるかを考える。社会科における学習目的・学習内容・学習方法の関連性について理解することができる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	地図帳の見方・使い方を確認し、地図帳を使って児童同士がコミュニケーションを取り合う楽しい授業の案を考える。社会科に関する一般教養2について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	地図帳の基本的な見方・使い方を理解し、楽しい授業づくりに前向きに取り組むことができる。 一般教養2の課題について、自分の考えをもつことができる。	(予習) 地図帳にはどのようなことが書かれているかをあらかじめ見ておく。また、学習指導要領社会科を読み、各学年で地図帳をどのように扱っているか、つかんでおく。 (復習) 地図帳を使って、他の教科と関連させる学習がどのようにできるか、自分のアイデアを書いてみる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	小学校学習指導要領社会科6年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解するとともに、日本の政治や歴史上の人物について確認する。社会科に関する一般教養3について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	小学校学習指導要領社会科6年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解することができる。また、小学校で学ぶべき政治に関する用語や歴史上の人物について理解することができる。 社会科に関する一般教養3について学び、課題について自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校学習指導要領社会科6年生を読んで、キーワードをチェックする。 (復習) 6年生社会科の内容を読み直し、いくつかの単元で、児童が学ぶであろうアイデアを箇条書きで書き出してみる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	小学校学習指導要領社会科5年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解する。先輩達が模擬授業で行った社会科授業の工夫について学び、自分はそのような工夫をするか考える。社会科に関する一般教養4について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	小学校学習指導要領社会科5年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解することができる。 先輩達の模擬授業での工夫に触れて、自分はそのような工夫をしようか考えようとする。社会科に関する一般教養4について学び、課題について自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校学習指導要領社会科5年生を読んで、キーワードをチェックする。 (復習) 模擬授業に向けて、どのような単元でどのような工夫をするか、書き出してみる。	18	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	社会科指導案(略案)の書き方の基本について理解する。工夫した構造的な板書について学び、模擬授業の板書計画を考える。社会科に関する一般教養5について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	指導案の書き方の基本についておおよそ理解する。工夫した構造的な板書について学び、模擬授業の板書計画を考えようとする。社会科に関する一般教養5について学び、課題について自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校社会科の指導案にはどのような形式があるかを調べる。 (復習) 模擬授業を行うに当たって、どの学年のどの単元で行うか、考える。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	模擬授業に向けて社会科指導案(略案)を作成する。	演習 前時のレポートへのフィードバック	社会科指導案(略案)の本時のねらいやおおよその指導過程を書くことができる。	(予習) 社会科指導案(略案)の大まかな流れを計画する。 (復習) 指導案の書けていないところについて、さらに記述する。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	模擬授業に向けて社会科指導案(略案)を作成し、板書計画も仕上げで完成に近づけさせる。	演習 前時のレポートへのフィードバック	板書計画を含めて社会科指導案(略案)を執筆し、提出しめ切りまでに終えられるとこまで書き上げることができる。	(予習) 指導案(略案)の書いていないところの記述を進める。 (復習) 書き足りないところを執筆し、期限までに提出をする。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	模擬授業に授業者として、または児童役として参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討する。	実習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討することができる。	(予習) 模擬授業で行う授業の指導案を読んで、参加する際のポイントをまとめておく。 (復習) 各自の模擬授業について振り返り、それぞれの模擬授業の長所と改善点をまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	小学校5年生の社会科教科書の中から単元の一つを選び、その中の1時間の授業を1枚の資料からスタートさせるとしたら、どのような資料を使ったらどのような児童への投げかけをすると良いか、グループで考える。 社会科に関する一般教養9について学び、課題について自分の考えをもつ。	実習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討することができる。	(予習) 模擬授業で行う授業の指導案を読んで、参加する際のポイントをまとめておく。 (復習) 各自の模擬授業について振り返り、それぞれの模擬授業の長所と改善点をまとめる。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	5年生社会科の内容で、1枚の資料からスタートさせる模擬授業をグループごとに行い、その授業に参加をして、その工夫の良さを考える。	実習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討することができる。	(予習) 模擬授業で行う授業の指導案を読んで、参加する際のポイントをまとめておく。 (復習) 各自の模擬授業について振り返り、それぞれの模擬授業の長所と改善点をまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	前時まで実施された模擬授業を振り返り、児童の関心を高めたり学びを深めたりする授業について考え、授業づくりの工夫やおもしろさについて感じる。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	児童の関心を高めたり学びを深めたりする授業について考え、授業づくりの工夫やおもしろさを感じるができる。	(予習) 授業の導入ではどのような資料提示や発問をすると良いか、主発問はどのようにするとよいか等について、今までの講義をもとに、箇条書きで大切なことを書き出す。 (復習) 後期を通して学んだことをまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	様々な社会課題に目を向け、その解決に向けて、未来を生きる児童にどのような学びの場を与えていくとよいか、いくつかの試みを通して考える。	講義 グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	講義内で提示された資料について、自分の思いを表現することができる。	(予習) 今までの講義についてのまとめや感想を読み返し、どのような学びがあったかを想起しておく。 (復習) 本時を通して感じたり考えたりしたことを、今後に生かす形でまとめる。	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	今までの講義を振り返り、社会課題に目を向ける大切さと、その解決に向けてどのように子どもたちに学びを提供すれば良いかを考える。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートへのフィードバック	講義内で提示された資料について、自分の思いを表現することができる。	(予習) 小学校の社会科学習が中学校ではどのように継続していくのか、小学校学習指導要領社会編の付録にある「中学校学習指導要領社会」を読んで、ポイントを書き出す。 (復習) この講義を通して学んだこと、感じたことをまとめる。	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力